雪を求めて大岳山へ

山行日：2019年２月２日

行程　：御岳山駅 9：25－アク場 10：40/10：50－大岳山 12：00/12：20－白倉分岐 13：00/13：10－
　　－白倉 14：30

奥多摩三山のひとつ、大岳山を目指して、淑女 11 名、紳士１名で出発しました。

前々日に降った雪が残り、快晴で最高の登山日和となりました。

御嶽駅からバスでケーブル下へ。まだ朝早くケーブル駅までの道が、凍ってすべる。ここで、ころんでは大変と慎重にあるきます。ケーブルはさすがにこの時期、貸し切り状態です。ケーブルを降りて参道に入り、見慣れた宿坊を通り、御岳山を通過、よく手入れされた樹林の道を進みます。しだいに積雪が、１０～２０ｃｍの深さになっていました。

雪の感触を楽しみながら進みます。天狗の腰掛け杉を過ぎ、気が付けばここまでほとんど平坦な道・・・そういえばケーブルで高度をかせいでいました。

アク場峠を経て少し傾斜が急になり、ここで臆病な私は６本爪アイゼンを装着、１２本爪の方もいます。訓練、訓練。アイゼンなど全く必要なさそうな方もいます。岩がゴロゴロしていたり、雪に隠れて岩場があり、それなりに緊張する箇所もあり、スリルを楽しみながらすすみました。

ここからは、間もなく頂上、富士山がまっていてくれました。丹沢や奥多摩の青い山並みを座布団にして白銀の富士山がちょこん座っているような景色。頂上では澄んだ青空のもと、富士山を眺めながら、ランチタイムです。みずみずしいポンタン、レモンジャム、ダイコンの煮物、美味しいおすそ分けいただきお腹いっぱいになりました。

下山は、大岳山荘まで戻り、白倉まで一気にくだりました。白倉発のバスが、出たばかりでタクシーで武蔵五日駅へ。

三班最後の班山行ということで、当然反省会に有志で参加。この時間、くしゃみの出た方いませんでしたか？

この時期の大岳山を計画してくださった、和田(Ｌ)、渡辺(敦)(ＳＬ)、細村(ＳＬ)、ありがとうございました。近くの山で、雪山を味わえて、最高でした。